

## 令和6年度 県民文化大学講座

### 「呂坤と『呻吟語』」 ～『呻吟語』(外編)を読む～

呂坤(1536～1612)は明末の儒学者・官僚。寧陵(河南省)の人。字は叔簡。号は新吾。襄垣知県をはじめとし山西巡撫を経て、刑部左侍郎に至りますが、忌憚無い意見を上奏するも入れらず、結局自ら官職を退いて、田野に儒学を講じました。

今年度の大学講座は、去年の『呻吟語』(内編)に引き続いて、『呻吟語』(外編)を読み解き、呂坤の思想を学ぶとともに、その背景である明代の歴史と文化に触れていきます。

回	日 程	テ ー マ	
1	令和6年 4月18日(木)	呻吟語(外編)を読む 卷四、天地篇。 呂坤の自然観から中国人の考えを知る	
2	5月16日(木)	呻吟語(外編)を読む 卷四・世運篇 卷六、物理篇・詞章篇。世の流れと経典の文に学ぶ	
3	6月20日(木)	呻吟語(外編)を読む 卷四、聖賢篇。 儒教における聖賢論	
4	7月18日(木)	呻吟語(外編)を読む 卷四、品藻篇①。 人の生き方から聖人君子への道	
	8月	休 講	
5	9月19日(木)	呻吟語(外編)を読む 卷四、品藻篇②。 明代の儒学における場合	
6	10月17日(木)	呻吟語(外編)を読む 卷五、治道篇①。 理想の政治の在り方から明代の政治について	
7	11月21日(木)	呻吟語(外編)を読む 卷五、治道篇②。 当時における政治批判から考える	
8	12月19日(木)	呻吟語(外編)を読む 卷六、人情篇。 人の心とは如何に在るべきか	
9	令和7年 1月16日(木)	呻吟語(外編)を読む 卷六、広諭篇①。	歴史上の人から現代に 生きる私たちが学べる ものは、何があるか
10	2月20日(木)	呻吟語(外編)を読む 卷六、広諭篇②。	
11	*注 第2木曜日です。 3月13日(木)	呻吟語(外編)を読む 全体のまとめ	

\*状況により日程・内容は、変更する場合があります。その際には、事前にご連絡いたします。

○会 場 アクロス福岡2階 セミナー室

○時 間 10:30～12:00

○講 師 福岡女子大学名誉教授 疋田 啓佑(ひきた けいゆう)氏